

市民の皆様の声を市政に

20人の議員がさまざまな分野にわたり、市に考えを聞きました

(詳細については本庁・支所にある市政情報コーナーや図書館に備えつけの会議録や市議会ホームページをご覧ください。なお、会議録の掲載については3月中旬を予定しています。)

1. 金子 雄一

①市長マニフェスト事業の進捗状況と来年度の取り組みについて②鴻巣駅東口駅通り地区の再開発について③上尾道路の進捗状況について

2. 頓所 澄江

①防災行政無線統合事業②全国瞬時警報システム③小・中学校の土曜授業④第2次鴻巣市健康増進計画⑤骨粗しょう症の検診⑥緑越手続きにかかる契約

3. 並木 正年

①鴻巣観光戦略の制定②情報発信と宣伝の拡大による鴻巣の知名度アップ③防犯灯のLED化の推進④生きる力をはぐむ学校教育の充実⑤いきいき先生の増員

4. 加藤 孝

①高齢者対策にかかる情報の共有化の推進・地域資源の活用②認知症サポーターの養成・徘徊SOSネットワークの構築③災害時要援護者台帳の開示の拡大

5. 岡田 恒雄

①平成25年度の予算編成について②災害時応援協定について③友好姉妹都市協定の進捗状況について

6. 菅野 博子

①公立保育所の再編計画の見直し・入所者数・正規職員採用・運営費②防災会の補助金は自治会員数に応じる事③東口シネコンの採算性④中学校女子の防寒対策

7. 金澤孝太郎

①都市計画税の受益と負担の明確化。主な用途である公共下水道事業②暮らしやすい生活道路改良事業③近隣住民が迷惑している騒音バイク等の取り締まり

8. 加藤 久子

①吹上富士見保育所の廃止問題の要望書をどう受け止めたのか②映画館を再開する事による集客と営業実績をどう見込むのか③吹上小学校の既存建築物の保存を

9. 野本 恵司

①生活保護認定と自立②介護施設と内容の管理③下水道普及計画と完了目標④下水の行き先と河川の汚染への影響⑤救急データの分析と自殺未遂者の相談窓口

10. 坂本 国広

①秋に行われる市主催・共催のイベントについて②鴻巣市産業祭について③鴻巣市産業祭と川里フェスティバルを同日開催していることについて

11. 田中 克美

①天神1丁目交差点改良②粗大ごみの不法投棄防止③分別回収④ジョブサポートこうのすの概要及び目的⑤国民健康保険税の改正⑥国民健康保険医療費抑制対策

12. 織田 京子

①地籍調査は平成12年以降は休止状態にあるがその理由と再開の見込みは②文書の電子化について③指定避難所の各小中学校の洋式トイレ化と携帯メール連絡

13. 中野 昭

①平成25年度予算編成に向け市長の基本姿勢について②天文教育の充実について③吹上地区3小学校の給食施設について

14. 阿部 慎也

①フラワー号吹上コースの利用者は吹上地域住民の90%以上になっているが②吹上コースの実態調査をしているか③オンデマンドバス交通システムについて

15. 川崎 葉子

①介護予防ボランティアポイント制度導入は②聴覚障がい者に「黄色いハンカチ」③高次脳機能障がいについて④通学路の緊急合同総点検の結果と今後の対策

16. 秋谷 修

①地域防災計画の見直しの内容、およびスケジュール②市民・市内事業者との共同による発電事業の進捗状況③公共施設の屋根貸しによる太陽光発電の設置

17. 橋本 稔

①レアメタル等の回収・リサイクルの取り組みについて②防犯灯のリース方式でのLED化推進は③男性介護者の実態と介護支援の状況は

18. 中島 清

①こうのとりにアカデミーの今後について②古典芸能の開催について③軽度・中等度難聴児への対応について

19. 長嶋 元種

①難病手帳の発行見込②ごみ焼却施設への発電設備の設置③教育支援センターの指導教員の強化④サービス付き高齢者向け住宅の現状と今後の具体策

20. 潮田 幸子

①子ども子育て支援関連3法を受けての子育て支援総合推進について②年少扶養控除廃止による子育て家庭への影響③大間近隣公園整備計画への市民の声の集約

一般質問の中の 主な質疑の 内容を紹介します

鴻巣駅東口駅通り地区の再開発について

上尾道路周辺の活性化策

問 再開発の基本姿勢と計画案、進捗状況を問う。

答 再開発事業の事業計画は、再開発準備組合で計画しており、計画案のコンセプトとして、A地区とは対角線にあるような施設計画となっております。

住宅・高齢者施設・保育所・公共公益・店舗・駐車場を主な床用途として事業化に向けた検討がなされています。現状数社が参画の意向を示し、準備組合と協議が行われています。

問 建設の重要性をどのように捉えているのか。課題と、道路建設に伴う周辺地域の活性化対策を問う。

答 市民の利便性の向上や経済活動の創出など、市域全体の産業活性化につながるかと考えています。課題としては、国の予算の確保や、上尾道路を横断するうえで通行への影響等が考えられます。

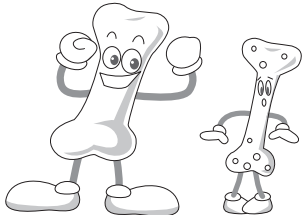
周辺地域の活性化については、利便性を生かした土地活用を進めてまいります。

骨粗しょう症の個別 検診導入の考えは

問 個別検診の導入と、検診率の向上策を問う。

答 対象年齢を30歳から70歳までの5歳刻みの節目の女性とし、平成25年度から個別検診を実施予定です。

来年度から個別検診に移行することから、対象となる方に個別の通知を行うことで受診率向上を図ります。



観光戦略の策定について

問 特色ある特産品と観光資源の発掘、市民協働の取り組みについて問う。

答 歴史や文化を有したまちであることから、これらを活用した観光振

興を図る必要があると考えます。
「ご当地グルメを積極的に活用し、認知度アップに努め、多くの市民の皆さんがかかわることのできる観光施策を計画していきます。」



川幅日本一PR看板と川幅グルメ詰め合わせ

災害時応援協定の状況は

問 自治体間の相互応援協定と、民間団体等との支援協定の状況は。

答 県内全市町村間のほか、福島県金山町と相互応援協定を締結してい

ます。また、静岡県三島市との相互
応援協定の締結を目指し、調整を進
めています。

現在、20件の民間団体等と物資の
緊急輸送、飲料水や燃料等の優先的
供給、備蓄水の提供等のご協力につ
いて支援協定の締結をしており、引
き続き、協力体制の強化に努めま
す。



売上げの15%が防災用品購入資金となる防災応援自販機

友好姉妹都市協定の 進捗状況

問 ここのとりや花などを共通点と
した、友好姉妹都市協定の状況は。

答 「花」「歴史」を共通点にした候補
地は、地理的条件等から断念しまし

た。現在、群馬県沼田市、長野県上
田市と交流を深めています。友好交
流都市、友好姉妹都市、災害時応援
協定都市へと拡大が図られるよう努
めていきたいと思えます。

都市計画税における 受益と負担の明確化

問 都市計画税の用途は、市街化区
域内の納税者の要望等に対応した計
画となっているか問う。

答 都市計画税は、本市の都市計画
事業と土地区画整理事業の費用に充
当する目的税であり、一般財源の一
部であります。平成23年度の都市計
画税は7億2384万円で、三谷橋
大間線事業・上谷総合公園事業・公
共下水道の建設改良費等に使用して
います。今後も市民要望を背景とし
た都市基盤整備事業については財源
の確保を図りながら計画的に推進し
ます。

下水道の普及計画

問 本市の下水道計画はいつごろ完
了するのか。

答 平成23年度の普及率は74・9%
です。近年は箕田地区や上谷地区の
整備を実施しましたが、居住人口が
少ないため、普及率は微増となって
います。

未実施エリアへの対応は、投資効
果等を十分考慮し、整備を進めてい
きます。

天文教育の充実

問 吹上中・鴻巣児童センターのプ
ラネタリウムと吹上北中の天体望
遠鏡は使えるのか。また、天体機器
の技術者確保は。

答 吹上中・鴻巣児童センターのプ
ラネタリウムと吹上北中の天体望遠
鏡は使えます。また、プラネタリウ
ムや天体望遠鏡の維持・管理です
が、これらの天体機器は希少価値の
高い古い機械であるため、技術者に
ついては天文ボランティア「いちば
んぼし」や関係部課と連携しながら
維持管理に努めます。

小・中学校では地球や月、太陽、
星の動きなど天文について学びま
す。

天神一丁目交差点改 良事業の見通し

問 用地買収の見込みがついたよう
だが、今後の見通しを問う。

答 工事に先立ち、工事説明会を行
い沿道の皆様のご理解とご協力をい
ただきながら、改良工事を実施した
いと考えています。本工事の現地着
手につきましては、平成25年1月下
旬から2月上旬を見込んでおり、完
成は3月下旬を目指しております。



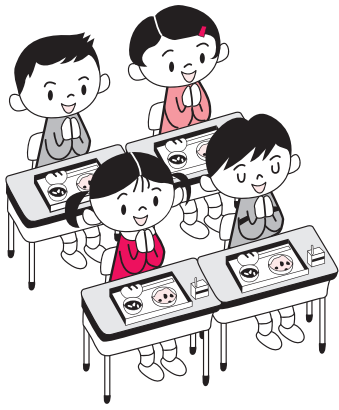
工事予定の天神1丁目交差点

吹上地区、小学校の給食施設について

問 吹上地区の小学校は平成26年度から給食が自校方式になるため調理施設の建設が始まるが、現段階での課題及び調理処理規模は。

答 工事期間中の学校内・近隣住宅への騒音や振動、工事中に使用できなくなる来客用駐車スペースの確保等の問題があります。

調理処理規模は、各小学校ともに児童数と教職員数の合計の概ね2倍を見込みますが、吹きこぼれや焦げつきなどを防ぐため、この7割程度で調理することになり、これを最大給食数と考えています。



介護予防ボランティアアポイント制度の導入は

問 介護予防ボランティアアポイント制度導入についての見解を問う。

答 ボランティアアポイント制度の実施方法としては、現在、社会福祉協議会の実施する地域支えあい事業等と同様な仕組みや、新たに介護保険の地域支援事業として創設された「介護予防・日常生活支援総合事業」として実施する方法等が考えられます。今後、介護予防リーダーの方々、これからの活動方法やボランティアアポイント制度についてご意見を伺うほか、先進事例の取組等を検証し、より多くの方に介護予防の事業に参加いただき、活動の場を提供できるように支援体制づくりの検討を行ってまいります。

男性介護者への支援策

問 男性介護者のための相談窓口やサロンを設置する考えは。

答 地域包括支援センターでさまざまな介護者教室を開催しています。男性介護者の支援にどのような視点で取り組み、具体化していくのか検討し、安心して介護に臨んでいただけるよう努めていきます。

大間近隣公園の整備、意見集約について

問 どのような工程で、どのような時期に、どのような形で市民の意見を集約し、反映させていくのか。

答 平成27年度にパブリックコメントを実施するとともに、集約した意見などは可能な限り基本計画の見直しに反映させ、鴻巣地域西側の核となる公園整備に努めます。公園整備は平成29年度の着工を予定しています。



現在の大間近隣公園

三谷橋大間線の供用開始は

問 供用開始はいつごろか。また、交通量の見込みを問う。

答 工事は順調に進んでいることから、平成25年4月2日の供用開始を予定しており、信号機は3月末までに設置完了予定です。交通量の見込みについては、昼間12時間当たり5000台から1万台と予測しています。



供用開始間近の三谷橋大間線